

# 10月は『男女共同参画推進月間』

男女共同参画社会とは、お互いを認め合い、共に生きようとする、人権が尊重される社会です。この機会に、私たちの周りにある男女のパートナーシップについて考えてみましょう。

## ワーク・ライフ・バランス 仕事・生活・調和

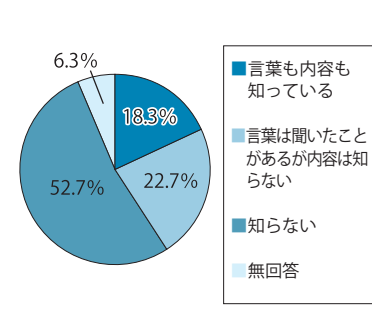
### ワーク・ライフ・バランスとは

「仕事と生活の調和」と訳され、市民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できることをいいます。

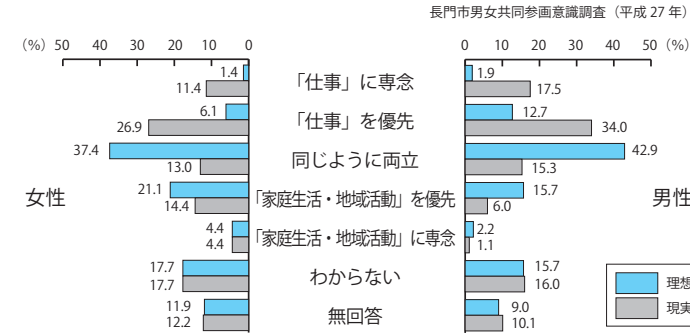
平成27年に実施した長門市男女共同参画意識調査では、「ワーク・ライフ・バランス」について、言葉も内容も知っている人は約18%で、知らないと答えた人が半数以上を占めています。

また、「仕事と家庭生活・地域活動の調和に関する理想と現実」については、男女ともに多くの人が仕事と家庭生活・地域活動を両立させることを望んでいます。

### ワーク・ライフ・バランスの認知度



### 仕事と家庭生活・地域活動の調和に関する理想と現実



### わたしのワーク・ライフ・バランス

「仕事と生活の調和」により、自分らしい豊かな暮らしの実現を目指す上で、どんなことに気をつけたいのでしょうか？  
市民生活の一例を聞いてみましょう。

#### ■質問事項

- ① あなたのワーク・ライフ・バランスについて教えてください。
- ② 仕事以外の活動ややりがい、生きがいは何ですか？
- ③ 理想的な暮らし方は？



大村真由美さん(日置上)  
職業：喫茶店経営  
趣味：モラ(パナマの民族手芸)

- ① 仕事もあり、母の介護もあり、地域の行事もありで、時間が足りないですが、主人が気持ちよく家から送り出してくれますし、精神的にバックアップしてくれるのが一番助かります。
- ② 休日を利用して我が家の古民家再生に取り組んでいます。
- ③ いつまでも健康で、地域の人たちと楽しく暮らし、たまに子どもがいる都会に行つてリフレッシュできたらいいですね。

### もう一度考えてみよう

#### 男女共同参画社会

男女共同参画社会という「女性のためのもの」と感じる方もいらっしゃいますが、男性も「男性だから」と性別による固定的な役割意識を決めつけられて考えや行動を制限されることはありませんか。

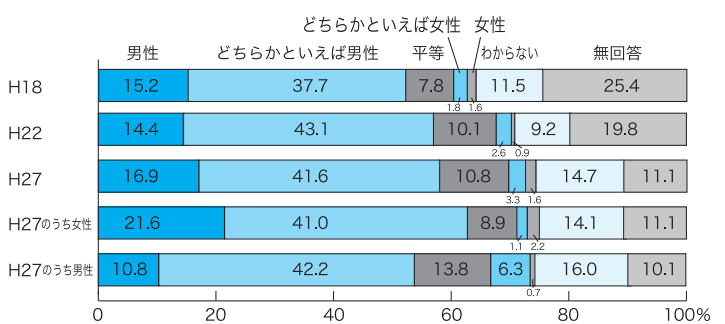
性別にとらわれず、男女が社会の対等なパートナーとして、あらゆる分野に参画し、ともに責任を分かち合うことができる社会であり、その実現のために私たち一人ひとりの取り組みが大切です。

### 長門市の現状は？

市が平成27年度に行った調査によると、平成18年度、平成22年度調査に比べて、男女の地位が「平等」と思う人の割合はわずかに増加していますが、一方で「男性の方が優遇されている」と答えた人も増えており、6割近くを占めています。

女性がさまざまな場に進出するなかで、男女の地位の差を感じる機会が増えているのかもしれない。

### 男女の地位の平等感



### 男女共同参画社会を

#### 実現するために

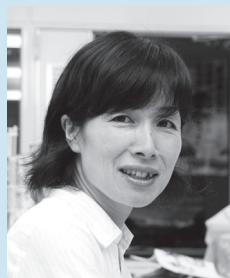
平成11年6月に「男女共同参画社会基本法」が制定されてから10年以上が経過しましたが、男女があらゆる場面でともに責任を担える環境を実現するためには、より一層、家庭・職場・地域社会において、性別に関係なくお互いを尊重しあい、連携を深めることが重要です。

- 日時 10/29(土)
- 会場 山口県婦人教育文化会館
- 内容 分科会・式典・講演会
- 参加申し込み 男女共同参画フォーラム実行委員会事務局 (山口県男女共同参画課内)
- TEL 083-933-2630
- 問い合わせ 企画政策課 TEL 23-1116

### ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた「3つの心構え」と「10の実践」

- 3つの心構え
  - ①本気！ 「ワーク・ライフ・バランス実現のために、仕事を効率化して、労働時間を削減する！」を実現するため、全員が「本気」で取り組む
  - ②前向き！ 「やらされ感」ではなく、全員が納得したうえで「仕事の効率化」に前向きに取り組む
  - ③全員参加！ 「自分だけは例外」を許さない。「忙しい」を言い訳にしない
- 10の実践
  - ①会議のムダ取り 会議の目的やゴールを明確にする。参加メンバーや開催時間を見直す。必ず結論を出す
  - ②社内資料の削減 事前に社内資料の作成基準を明確にして、必要以上の資料の作成を抑える
  - ③書類を整理整頓する キャビネットやデスクの整理整頓を行い、書類を探すための時間を削減する
  - ④標準化・マニュアル化 「人に仕事がつく」スタイルを改め、業務を可能な限り標準化・マニュアル化する
  - ⑤労働時間を適切に管理 上司は部下の仕事と労働時間を把握し、部下も仕事の進捗報告をしっかり行う
  - ⑥業務分担の適正化 業務の流れを分析した上で、業務分担の適正化を図る
  - ⑦担当以外の業務を知る まわりの人が担当している業務を知り、業務負荷が高いときに助け合える環境をつくる
  - ⑧スケジュールの共有化 時間管理ツールを用いてスケジュールの共有を図り、お互いの業務効率化に協力する
  - ⑨「がんばるタイム」の設定 自分の業務や職場内での議論、コミュニケーションに集中できる時間をつくる
  - ⑩仕事の効率化策の共有 研修などで、効率的な仕事の進め方を共有する ※参照：内閣府仕事と生活の調和室資料

- ① 業務時間内に仕事が終わるように集中して業務をこなしたり、仕事を溜め込まないように気をつけていますが、なかなかできていません。
- ② 子育てサークル「ちびくらねっつ」の会計をしています。
- ③ 仕事と家庭と地域活動がしっかりできることが理想ですし、できないところは家族で支え合うことができました。家族の支えに感謝しています。



畑村陽子さん(浜木)  
職業：団体職員  
趣味：テニス



光田真さん(東深川)  
職業：カメラマン  
趣味：バスケットボール

- ① 職場が自宅内にあるので、常に子どもや家族の存在を感じながら仕事ができている。仕事と生活のバランスがとれています。
- ② 商工会議所青年部やちびなが商店街実行委員会に参加しており、活動を通じて少しでも地域の役に立ちたいと思っています。
- ③ 今も理想に近い生活ですが、もう少し家の手伝いができたら。